

青空高く



鶴ヶ島中学校
学校だより NO 10
令和3年1月8日

新年を迎えて



令和3年が始まりました。生徒のみなさん、冬休みはどのように過ごしましたか？リラックスする時間や、自分自身を高める時間はとれたでしょうか。1・2年生は進級に向けて準備をする大事な学期、3年生はいよいよ自分の夢に向かって出願、受験をする学期になります。

さて、冬休み中は、コロナウィルス感染症の拡大が止まらず、県知事や政府の動きが毎日ニュースで流れ、生徒の皆さんの中には不安な気持ちになった人もいます。今後の歴史に残るような出来事が起こる中、皆さんは未来を築く人として、大人たちが取り組んでいることや困難に立ち向かっている様子をしっかり見つめ、自分自身のできることを冷静に着実にやっていくことが大切です。危機感を伝えるニュースやうわさに振りまわされることなく、中学生としての日々の努力を続けて欲しいと思います。具体的には勉強に励んだり、本を読んで自分自身の時間を作ったり、自主的なトレーニングをして体を鍛えることなどです。実りある3学期にするため、また春に新たなスタートが切れるよう、自分の目標を立てて欲しいと思います。

緊急事態宣言が埼玉県に発令されましたが、幸いにも学校は休校にならず授業を継続することができます。しかしながら、緊急事態宣言の実施期間中になりますので、皆さんにはより一層の感染症対策に取り組んで欲しいと思います。感染症対策に詳しく、コロナウィルス患者を診察してきた医師の話によると、手洗いがもっとも大事な対策の一つとのことでした。校内では保健委員を中心に手洗い場の液体せっけんの補充を行っています。トイレが新しくなりましたが、みなさんが手を洗った時に清潔を保てるよう、鶴ヶ島市が急速自動水栓に変更してくれました。このように皆さんが速やかに手を洗えるよう動いてくれている人がいます。登校後、外から戻った時、トイレの後、給食の前にはせっけんで必ず手洗いをして下さい。そのためには、ハンカチも毎日忘れず持ってくるのが大切です。前の晩、『必ずマスクとハンカチは用意してから寝る』など習慣づけましょう。また、風邪の症状があったり体の調子がいつもと違う場合は、無理せず登校を控えて下さい。

現在、コロナウィルスの感染経路が不明な場合が多く、いつだれがウィルスに感染してもおかしくありません。自分の家族や自分が感染者になっても慌てず、冷静に行動してください。保健所や学校も、感染者の方々が一日も早く元気になることや、感染を広げない努力をしています。また、普段の生活の中で感染者に対する差別的な言動や、興味本位に話の内容を現実より大きくして話すことは人を傷つけてしまうことがあります。自分が発する言葉に責任を持ち、人に対する思いやりの心を忘れないで下さい。不安なことや心配なことがあったら、自分だけで解決しようとせず、家族に相談したり、友達や先生に話をしてください。

では、気持ちを引き締めて、3学期をスタートさせましょう。

始業式の話より